

湖の辺のまち長浜デザイン会議 要点録

と き：R5.12.14(木) 19：00～21：00

ところ：BIWAKO PICNICBASE

参加者：16名

内 容：

- ◆自己紹介（名前、仕事内容、今年やり残したこと）
- ◆湖の辺のまち長浜未来ビジョンの確認
- ◆湖の辺のまち長浜デザイン会議の目的とグランドルールの確認
 1. ゆるやかに連帯しよう！
 2. 正解も間違いもない！
 3. 個人として語り聞く！
- ◆本日のトークテーマ（参加者提供）
 1. シェアリングエコノミーを普及させたい
地域おこし協力隊としてシェアリングエコノミーをテーマに新たに赴任された参加者からの提案。スキルや場所など、色々なものをシェアして新たな価値や仕組みが生まれる。
駐車場不足の状況からアキッパなどのサービスも導入しては？など意見交換がなされた。
 2. 子どもの居場所と教育拠点を探したい
まちなかで子どもの教育事業をしたいが、テナントを1棟丸ごと借りると賃料も高く、なかなか踏み出せない。将来的には複数の教育メニュー（学校では学べないこと）を複数拠点で展開し、まちなか小学校をつくりたい！という発案。
先の話題にあったシェアリングエコノミーで解決できないか意見交換するなかで、自宅の母屋を高齢者などが集う場として提供したい方が、離れであれば提供できるとのこと（デザイン会議終了後早速両者で内覧に行かれた。今後の展開が期待される。）
 3. 新店舗の閉店時間帯の活用方法を考えたい
まちなかでの出店を検討している。夜の賑わいも望まれるところだが、事業計画を立てるなか、来訪者が少なくなる夕方にはどうしても採算が取れないため閉店するしかないと考えている。夕方以降はサブリースして別機能として稼働させることで、担い手不足というまちの課題の解決に寄与したい思いが強い。
サブリース先は子どもの居場所として活用してくれる事業者を希望しており、相談段階だがリーシングも実施中。サブリース先の光熱水費は自社が負担する。家賃も安く提供し借りてもらいやすくするとのこと。
参加者たちからは、日中は観光客、夕方以降は子どもや地域住民を中心に人が集まるよ

